



高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム
イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム

平成28年度 成果報告書

Contents

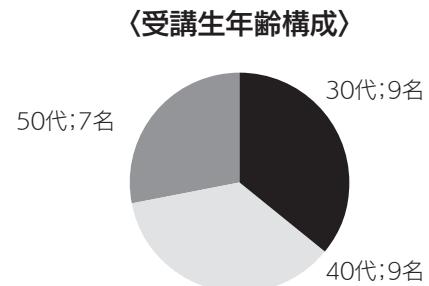
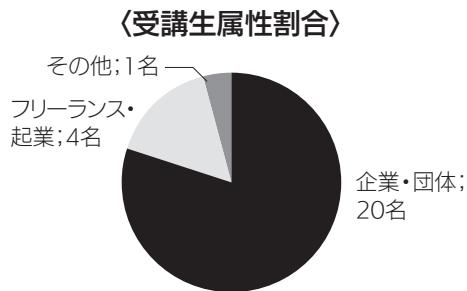
- 1 (1)「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」の開講、プログラム実施
 - ①出願・受講に関して
 - ②開講式・オリエンテーション
 - ③モジュール1「リーダーシップを発揮する」
 - ④モジュール2「創造性を磨く」
 - ⑤モジュール3「イノベーションを実践する」
 - ⑥授業業評価アンケート
- 13 (2)カリキュラム及び教育体制の確立
 - ①産業界との「協議の場」
 - ②プログラム検討会議
- 16 (3)ファカルティ・デベロップメントの実施
- 19 (4)プログラムの周知・広報

(1)「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」の開講、プログラム実施

①出願・受講に関して

	出願期間	面接	合格発表	出願数	合格数
第1期	平成28年2月29日～3月14日	3月19日	3月23日	12	12
第2期	平成28年3月20日～4月 3日	4月 9日	4月11日	14	13

受講生:25名



※「その他」は無職

※福岡女子大学卒業生 1名

※企業派遣 8社9名



②開講式・オリエンテーション

平成28年4月23日(土) 開講式、オリエンテーションを実施。

学習の進め方等のガイダンスに加え、「学び直し」をテーマにした自己紹介を兼ねたワークショップ 男女共同参画に関する特別講義を実施。

開講挨拶 福岡女子大学副理事長 渡辺 浩志

ご挨拶 福岡県男女共同参画推進室長 徳永 真由美氏

特別講義 「ダイバーシティとインクルージョン」 福岡女子大学学長特別補佐 福岡県男女共同参画センターあすばる館長 松田 美幸

オリエンテーション ワークショップ「学び直しとは?」

学内見学ツアー

e-learning システム操作説明

特別セッション レゴ® シリアスプレイ® ワークショップ「私を知り、私を深める～課題探求に向けての第一歩」





③モジュール1「リーダーシップを発揮する」

受講生:24名 平成28年5月14日開講

講 師:平山 猛(株式会社トライローグ 代表取締役) 熊野 たまみ(株式会社 adapt next. 代表取締役社長)

■授業内容

	対面授業	オンライン課題
Day1 5月14日	<ul style="list-style-type: none">●オリエンテーション●アイスブレイク●ファシリテーション概論●ディスカッション演習●ワールドカフェ演習●振り返り・全体共有	<ul style="list-style-type: none">●振り返りレポートの作成
Day2 5月21日	<ul style="list-style-type: none">●ファシリテーション4つのスキル ・場のデザイン・対人関係・構造化・合意形成 演習① 対人関係のペアワーク 演習② 構造化のグループワーク●振り返り・全体共有	<ul style="list-style-type: none">●グラフィック演習 会議(会話)を聞いて、議論を可視化する内容を抽出してまとめる
Day3 6月11日	<ul style="list-style-type: none">●チームビルディング●演習「マシュマロチャレンジ」●講義 リーダーシップ●リーダーシップ開発演習	<ul style="list-style-type: none">●振り返りレポートの作成

	対面授業	オンライン課題
Day4 6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラムデザイン演習①グループワーク「コスト削減プロジェクト」 ●講義 プログラムデザイン ●プログラムデザイン演習②グループワーク「コスト削減プロジェクト②」 ●振り返り・全体共有 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ準備 プログラムデザインの作成
Day5 7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●実践準備 ●演習 実際に会議を運営する 実習40分、振り返り20分 ・ファシリテーションチーム、観察チーム参加者チームに分かれて3セット 2会場で実施 ●振り返り・全体共有 	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りレポートの作成



④モジュール2「創造性を磨く」

受講生:20名

平成28年7月30日開講

講師:田村 大(株式会社リ・パブリック共同代表 イノベーションスタジオ福岡ディレクター)

■授業内容

	対面授業	オンライン課題
Day1 7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ●チームビルディング ●デザインとイノベーションに関するレクチャー ●インプット ●リサーチの進め方 ●課題の設定 ●リサーチの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューの実施とレポート作成
Day2 8月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●リサーチ成果の共有 ●新たなインサイトの抽出 ●インサイト間の関係発見・可視化 ●新たな機会の特定 ●アイデア創出の手法 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデア創出 一人4案
Day3 9月10日	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデアの共有 ●アイデアの持続的実現環境の検討、可視化 ●ユーザー・プロファイリング ●ステークホルダー分析 ●顧客体験のシナリオマップの作成、共有 	<ul style="list-style-type: none"> ●顧客体験のシナリオマップ作成
Day4 9月24日	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデア & シナリオマップの共有 ●アイデアの詳細化 ●プレゼン準備 ●プレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りレポートの作成

■最終アイデア

アイデア	リサーチ先	発見した機会
気軽な海外体験プログラム 福岡にいながら外国人と触れ合って自信をつける体験型プログラム	ベルギー出身大学教員 バングラデシュ出身経営者	福岡は思ったよりも国際都市ではない。まだ日本は外国人には住みにくい。日本人はファーストコミュニケーションが苦手なだけ。
ギャップイヤー体験プログラム 高校卒業後のギャップイヤーに様々な体験を行い、やりたいことを見つける	就職活動をしない学生 就職活動経験のない社会人	新しいことに挑戦したいが踏み出せない人の存在。人とのかかわりの中でやりがいを見出している。複数の仕事で自己実現をはかる。
Step Out 小規模事業所と働きたい人をつなげる地域密着型マッチングサービス	パラレルキャリアを実践している人	パラレルワーカーは充実し、経済的にも安定しているが、一歩を踏み出せない人、働き手を求めている小規模な事業所が地域にはたくさんある。
ハピフル時間簿 時間に対する価値観を周囲と共有し、有意義な時間の使い方を生み出す	Uターン選択者 Uターン非選択者 地元志向者	時間の使い方は個々の価値観や経験による。問題は時間の使い方に対する価値観を共有できていないこと。
企業リーグ型インターンシップ 入社5~6年目限定で企業リーグ内で実施。企業リーグ内でのノウハウの蓄積。	専業主夫 ボランティア活動家	自分の可能性は「ありのまま」「自分に合うこと」で見つかる。新しい可能性を発見できる機会があるとよい。



⑤モジュール3「イノベーションを実践する」

受講生:17名

平成28年10月8日開講

講師:間間 理(九州産業大学 経営学部 産業経営学科 教授)

■授業内容

	対面授業	オンライン課題
Day1 10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●テーマの設定・チームビルディング 持ち寄った関心領域、テーマを元にチーム編成、 コアアイデアを共有する ※レゴ® シリアスプレイ® ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●リサーチ ●アイデア修正
Day2 10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り ●テーマの設定・チームビルディング ●ステークホルダーマップの作成 ●提供価値の分析 バリュー・プロポジション・キャンバス ●担当講師とのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ●リサーチ ●アイデア修正
Day3 11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り ●ステークホルダー分析 (ステークホルダーマップの活用) 仮説を立てる ●問題構造のあぶり出し システムシンキング 因果ループマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●リサーチ ●プロトタイピング ●アイデア修正

	対面授業	オンライン課題
Day4 12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り ●提供価値の分析 バリュー・プロポジション・キャンバス ●ビジネスモデルの組み方 Business Model Canvas テンプレートの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデア修正 ●プロトタイプニング ●プレゼンテーション準備
Day5 2月4日	<ul style="list-style-type: none"> ●成果発表会 各チームごとの発表、ポスターセッション形式によるフィードバックの実施 	

※1月7日、8日に1チーム30分の個別相談会を実施



■チームアドバイザー(担当教員)

片桐 義範	(福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 教授)
太田 雅規	(福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 教授)
庄山 茂子	(福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 教授)
橋本 直幸	(福岡女子大学 国際文理学部 国際教養学科 准教授)
岡山 俊直	(福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授)
森田 健	(福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 教授)
岩崎 慎平	(福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授)
嶋田 大作	(福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授)
野依 智子	(福岡女子大学 国際文理学部 教授)
鈴木 有美	(福岡女子大学 国際文理学部 国際教養学科 准教授)
吹原 豊	(福岡女子大学 国際文理学部 AJP(学術日本語プログラム)担当 准教授)
ブルーノ クリストチャンス	(福岡女子大学 国際文理学部 AEP(学術英語プログラム)担当 講師)



■最終アイデア

プロジェクト名	内容
キャリアアップ支援施策	スペシャルキャリアウーマンへのインタビューから、キャリアアップに必要とされる時間を捻出するための工夫に着目し、心的・経済的負担を軽減する家事サービスの導入。
アップサイクル福利厚生	ものを大切にする生活を阻む原因のひとつが時間の余裕のなさ、ストレスフルな生活であると想定。単なるリサイクルではなく素材をよりよく「アップサイクル」する手作り工房を社内に設置することでメンタルヘルスを推進。
家事体験プログラム	子どもがいきいき伸び伸びできないのは自己肯定感の低さから来ると想定。失敗体験を乗り越えることが自信につながる。協力して行い、生きる力を身につける家事体験を成長記録として残す。
哲学対話	様々な社会課題があるが、他人事ととらえてしまい、思考停止に陥ってしまう傾向がある。抽象的なテーマでの対話を通じて思考力、創造力を身につける機会を創出。哲学対話の会を創設。
市民と議員のダイアローグ	なかなかイノベーションが起こらない理由のひとつに「結び目」の役割がないことが挙げられる。思いを持った発案者と実行に移す第三者が繋がることで思いが実現できる。遠い存在の政治を身近に感じられる対話の場をプロデュース。
紡ぐカフェ	社内コミュニケーションの活性化をテーマに探索。自分たちが本当にやりたいことは「学んだことを職場で生かし、実践すること」。そのための学びの復習の場を作り、他者を巻き込みながら、成長を続ける。



⑥授業評価アンケート

	モジュール1	モジュール2	モジュール3
授業全般について 全体の満足度はいかがでしたか?	8.0※	6.9※	6.9※
毎回の授業のテーマ、内容は明確に示されていましたか?	4.3	3.7	3.7
教材の使い方(配布物、スライド等)の利用は適切でしたか?	4.1	3.6	3.8
授業の進行速度は適切でしたか?	4.0	3.6	3.4
理解しやすい話し方、説明でしたか?	4.2	3.8	3.7
授業の難易度は適切でしたか?	3.9	3.6	3.5
質問や相談ができるように配慮されていましたか?	4.2	4.0	4.1
授業の目的・意図は理解できましたか?	4.2	3.8	3.6
授業内容は理解・習得できましたか?	3.6	3.4	3.5
この授業に意欲的に取り組みましたか? (対面授業を中心にお答えください。)	4.2	4.0	3.8
この授業に意欲的に取り組みましたか? (オンライン、プロジェクト上の課題への取り組みを中心にお答えください。)	3.9	4.0	4.1



- ・1人では学び得ない多くのことを、チームの中で学ぶことが出来ました。
- ・最終モジュールでは福岡女子大学の先生方からサポートいただき、困っていたり話が進まなくなつた時のきっかけづくりをしていただいたおかげで最終発表にまで進めたとすごく感謝しています。
自分たちの意見とは全く正反対のことを先生からアドバイスされ、本当にこれでいいのかと深く考えさせられ、悩み迷うことばかりだった気がしますが、最終的にはそれがすごくいい基点になったようにも思い、とてもいい授業だったと思います。
今後継続中にも、サポートしていただける体制があると嬉しいと思いました。
- ・最初は不安が大きいモジュール2でしたが、新たな体験・発見が出来て終わってみれば非常に充実した内容でした。 (モジュール2の感想)
- ・毎回の授業は興味深く取り組めました。内容が初めての事がほとんどでしたので、知識も広がりました。事前課題は、仕事の調整でかなり難しかったですが、自分でやると決めた以上はやるしかないという想いでした。 (モジュール1の感想)



(2) カリキュラム及び教育体制の確立

①産業界との「協議の場」

平成26年10月27日付けにて企画協議会、プログラム開発委員会が発足。

●平成28年6月17日 第1回プログラム開発委員会

開講報告、受講生の状況

モジュール1終了報告、課題共有、改善点協議

出席者：九州経済産業局 産業人材政策課長 兵頭 達也氏

福岡市市長室広報戦略室 広報戦略課長 大倉野 良子氏

株式会社ふくや 網の目コミュニケーション室 守田 有理子氏

TOTO株式会社人財本部人財部ダイバーシティ推進グループ 菊竹 倫子氏

株式会社トライローグ 代表取締役 平山 猛氏(モジュール1担当講師)

福岡女子大学 副学長 人間環境学研究科長課長 森田 健(プログラムコーディネーター)

学長特別補佐 松田 美幸(プログラムコーディネーター)

女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

●平成28年10月27日 第2回プログラム開発委員会兼企画協議会

モジュール2修了報告、課題共有、改善点協議

平成29年度のプログラム改訂に関する協議を実施。

出席者：女性の大躍躍進会議 企画委員会委員長 川原 正孝氏(企画協議委員)

九州地域産業活性センター 企画部長 高田 英雄氏

九州経済産業局 産業人材政策課 大石 直美氏



福岡市市長室広報戦略室 広報戦略課長 大倉野 良子氏
株式会社ふくや 網の目コミュニケーション室 守田 有理子氏
株式会社トライローグ 代表取締役 平山 猛氏(モジュール1担当講師)
九州産業大学 経営学部 産業経営学科 教授 聞間 理氏(モジュール3担当講師)
福岡女子大学国際文理学部教授 野依 智子(プログラム開発委員)
福岡女子大学副学長 人間環境学研究科長 森田 健(プログラムコーディネーター)
福岡女子大学学長特別補佐 松田 美幸(プログラムコーディネーター)
福岡女子大学学務部長 田中 正一
福岡女子大学地域連携センター班長 山内 朋子
女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

●平成29年3月2日 第3回プログラム開発員会

モジュール3修了報告、修了認定協議

出席者:九州地域産業活性センター 企画部長 高田 英雄氏
福岡市市長室広報戦略室 広報戦略課長 大倉野 良子氏
株式会社ふくや 網の目コミュニケーション室 守田 有理子氏
株式会社トライローグ 代表取締役 平山 猛氏(モジュール1担当講師)
福岡女子大学 副学長 人間環境学研究科長課長 森田 健(プログラムコーディネーター)
福岡女子大学 学長特別補佐 松田 美幸(プログラムコーディネーター)
福岡女子大学 副学長 国際文理学部教授 野依 智子(プログラム開発委員)
女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子 何 艷



②プログラム検討会議

モジュール担当教員とのプログラム検討会議を実施し、プログラムの改善、改良を行った。

日時	名称	内容
平成28年5月24日	モジュール3プログラム検討会議(第1回)	モジュール3 プログラム内容、各日のタイムスケジュールの策定、検討、ゴール設定についての検討
平成28年6月28日	モジュール1プログラム検討会議(第1回)	モジュール1 途中経過の確認、ゴール到達度の確認、ワークショップ演習の進行方法についての検討
平成28年7月 6日	モジュール2プログラム検討会議(第1回)	モジュール2 プログラム内容、各日のタイムスケジュールの策定、テーマの策定、メンターの配置・役割についての確認
平成28年7月19日	モジュール3プログラム検討会議(第2回)	モジュール3 プロジェクト進行における関与、介入に関する検討
平成28年8月 9日	モジュール1プログラム検討会議(第2回)	モジュール1 振り返り、課題の抽出、平成29年度プログラム改編に係る検討
平成28年9月24日	モジュール1、モジュール2合同プログラム検討会議	平成29年度プログラム改編に係る具体的検討 各モジュールの連携に関する協議
平成29年2月23日	モジュール3プログラム検討会議(第3回)	モジュール3 振り返り 最終レポートの確認、平成29年度プログラム改編に係る検討

モジュール担当講師、プログラム開発委員でもあるプログラムコーディネーター、事務局が出席。

(3) ファカルティ・デベロップメントの実施

① プログラム充実、改善を目的に全関係者でキックオフミーティング並びに 対面授業への参加・聴講を実施。

平成28年6月3日、6月8日に担当教員を対象にキックオフミーティングを実施。

モジュール3「イノベーションを実践する」での担当教員の関わりや指導方法、受講生が抱えるテーマ、問題意識等に関して情報交換を行い、実際に授業、オンライン学習上で発生する様々な受講生からの質問や依頼に応えられるように準備を行った。

また、オンライン学習へのアカウントを発行、教員は担当モジュール以外でも受講生の学習動向を把握できるようにした。

対面授業への参加、聴講を積極的に受け入れ、学内教職員への周知をはかった。

合わせて、担当教員の専門領域、研究分野を受講生に紹介する10分程度プレゼンテーションビデオを撮影、編集、制作。

モジュール3事前課題として受講生は開講前に視聴し、自身のプロジェクトテーマ設定の際の参考情報、担当教員とのマッチングの参考資料として活用した。

各対面授業後には、担当教員全員で当日の授業の狙い、到達度、今後の受講生フォローについての意見交換、振り返り会を実施した。

平成29年2月17日に担当教員を対象に、モジュール3の振り返り会を実施。意見交換を行い、次年度以降のプログラム改編の際の参考とした。

②モジュール3プロジェクト実施時のモチベーション維持のための支援策としてのEQに関する勉強会の実施

平成29年2月17日に THデザイン 三森 朋宏を迎えて、EQに関する勉強会を実施

参加者:九州産業大学 経営学部 産業経営学科 教授間間 理氏(モジュール3担当講師)、

プログラムコーディネーター 副学長 森田 健、

女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

③先行事例、プログラム実施にあたっての事例調査

●平成28年10月22日 関西学院大学 ハッピーキャリアプログラム 女性リーダーコース事務局 舟越伴子氏来訪

双方のプログラム内容に関する情報交換、主にプロジェクト型学習の進め方、指導、支援方法についての意見交換を実施

調査者:プログラムコーディネーター 副学長 森田 健、女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

●平成28年12月10日 岩手大学地域創生推進機構 生涯学習部門 朴賢淑氏、中島有里氏来訪

社会人対象の学習プログラムの創設と運営に関する情報交換、意見交換を実施。

調査者:プログラムコーディネーター 副学長 森田 健、女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

●平成28年12月16日 文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」14大学合同フォーラム参加

調査者:プログラムコーディネーター 副学長 森田 健、副学長 野依 智子、女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

●平成29年3月11日 産官学連携フォーラム -女性の活躍はこれからの企業を変える、社会を変える-参加

関西学院大学主催のフォーラムにてパネラーとして登壇

調査者:プログラムコーディネーター 副学長 森田 健





④そのほかの取り組み

●平成28年10月23日、11月6日 ワークショップデザイン基礎講座の開講

平成29年度プログラム改編に向け、要望の高いワークショップデザインを学ぶ短期集中講座を企画、開講。

講師：株式会社ヒューマナイス 代表取締役 吉次 潤氏、女性学び直し支援室 コーディネーター 岸 智子

参加者：10名

●平成29年1月25日 社会人学び直しシンポジウム「学び直し」が私たちにもたらしたもの～大人の学びはなぜ必要か?を開催

内容：基調講演「大人は学びで輝く～わくわく学習がもたらすいきいき社会～」

株式会社タンタビーバ 取締役 一般社団法人 経営学習研究所 理事 板谷 和代氏

成果報告「プロジェクト・ベースド・ラーニングの成果を測る～イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラムにおける試み～」

九州産業大学 経営学部 産業経営学科教授 聞間 理氏

パネルディスカッション 「私たちを変えた学び」 プログラム受講1期生 前田 寿子氏、木村 千歳氏、林 泉氏、森 法子氏

参加者：85名



(4) プログラムの周知・広報

① 募集に関する情報発信

● 講座案内パンフレットの制作

平成29年1月10日納品 2000部

県内男女共同参画センター、NPO団体、起業家支援団体が主催する各種セミナー（女性起業家セミナー）で配布

個別説明会での配布、女性向け各種セミナー（福岡県女性海外研修事業「男女研修の翼」報告会、みらいねっとフォーラム、ふくおか女性いきいき塾成果報告会など）での配布

平成29年2月24日納品 500部

個別説明、企業人事担当者への配布（送付）

● ホームページの制作（更新）

平成29年1月10日 トップページ、講座概要ページ、募集要項ページの公開

● 説明会イベントの開催

計2回開催 のべ参加者25名

日時	場所	ゲスト・内容	参加者
平成29年3月1日	電気ビル共創館BIZCOLI	黒木慶子氏（CLC Works 所属）	6名
平成29年3月5日	福岡女子大学	ファシリテーションミニワークショップ (講師：モジュール1担当平山猛氏)	19名

● Facebookページの運営

平成29年2月末時点 ページへの「いいね」登録数 548件

福岡女子大学

高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム

イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム

発行日 平成29年3月

発 行 公立大学法人福岡女子大学 女性学び直し支援室



公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY